平成 30 年度
石岡ふるさと再生プラン
施策評価シート

施策の大綱

【基本理念】

人が輝く

安全・安心

共生・協働

【将来像】

誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか

【政策目標】

誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）P1～10

豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ（産業・経済）P11～16

人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）P17～26

災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）P27～32

健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ（健康・福祉）P33～42

歴史・文化・未来を育む学びのまちへ（教育・文化）P43～52

時代の変化に的確に対応できるまちへ（行政運営・経営）P53～62

【基本施策】

◆駅周辺・市街地の整備
◆公共交通機関の充実
◆道路の整備
◆計画的な土地利用の推進
◆下水道の整備
◆公園・緑地の整備
◆住宅の整備
◆地域に調和した景観の整備

◆企業誘致の推進・工業の振興
◆商業の振興・中心市街地の活性化
◆農林業の振興
◆観光業の振興

◆交通安全の推進
◆防犯対策の充実
◆消費生活の安全確保
◆省エネルギーの推進・新エネルギーの導入促進
◆上水道の整備
◆循環型社会の構築
◆環境保全の推進
◆協働によるまちづくりの推進

◆消防・救急体制の充実
◆防災機能の整備・強化
◆防災体制の充実
◆地域防災力の向上

◆健康づくりの推進
◆地域医療の充実
◆子育て環境の充実
◆高齢者福祉や介護予防の充実
◆障がい者福祉の充実
◆地域福祉の充実
◆生活困窮者等の自立支援
◆社会保障制度の安定した運営

◆創意ある学校教育の推進
◆学校施設の整備・充実
◆生涯学習の推進
◆生涯スポーツの推進
◆文化・芸術の推進
◆青少年の健全育成
◆歴史・文化財の保護・活用

◆積極的な情報発信と対話の充実
◆庁舎の整備・行政サービスの充実
◆地域情報化の推進
◆広域行政の推進
◆男女共同参画の推進
◆国際交流の推進
◆人材育成の強化
◆行財政改革の推進

施策評価シートの読み方

政策	
基本施策	
具体的取り組み例	

作成対象施策の基本情報
・施策体系のどこに位置づくものか，具体的にどのような取り組みをしているかを記載しています。

1 総括評価

	評価コメント
B	
A　順調 B　概ね順調 C　改善が必要 D　見直しが必要	今後の方向性

総括評価
・平成28年度末時点の内容を以下の主要事業の概要，成果指標，市民満足度調査から読み取り，どのような評価をしているかを記載しています。

評価基準
A・・・成果が認められ，順調。
B・・・若干課題や問題があるが，概ね順調。
C・・・一部成果は認められるものの課題や問題があり，改善が必要。
D・・・成果が認められず，廃止も含めた見直しが必要。

今後の方向性
・成果を踏まえ，今後の方向性や改善点等を記載しています。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性

主要事業の概要
・構成する事務事業の成果と今後の方向性を記載しています。

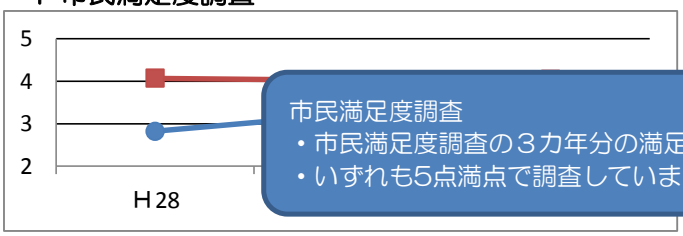
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27（実績値）

成果指標
・石岡ふるさと再生プランに記載している成果指標の達成状況を記載しています。

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）

市民満足度調査
・市民満足度調査の３カ年分の満足度重要度の推移を記載しています。
・いずれも5点満点で調査しています。

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1駅周辺・市街地の整備	A	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西自由通路が平成27年度に，西口駅前広場とＢＲＴ駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し，西口駅前広場の混雑も解消されました。	更なる賑わいづくりのため，駅西口側のステーションパークの有効活用と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。
2公共交通機関の充実	C	少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直され，その重要性は見直されているものの，主要な移動手段は自家用車が多く，路線バスをはじめとした，公共交通機関の利用者は減少しています。乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をし，手段自体の継続を支援することも必要ですが，公共交通制度を見直し，より利用してもらえる，今後も持続可能な交通網を形成する必要があります。	既存の補助事業に加え，持続可能な公共交通網を形成するために，近隣自治体等と連携し，移動手段の再考と利用促進を一体的に進める必要があります。
3道路の整備	B	幹線道路の整備については，既に完了した1路線を除く5路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても，事業計画に基づき，効率的・効果的に事業を進めております。 既存道路の改良・拡幅整備については，必要・緊急性の高い箇所から待避所整備を進めており，市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて，限られた予算の中で効率的な事業を行っています。	道路の整備については，国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに，既存道路の改良・拡幅については，優先されるべき必要箇所を見極めながら，効率的な事業を推進していきます。
4計画的な土地利用の推進	B	本市の将来像や目標，都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成２８年度に策定し，続けて２９・３０年度の２箇年で石岡市立地適正化計画を策定予定です。 地籍調査事業においては，年次計画通りに実施し完了しています。	マスタープランそして今後策定予定の立地適正化計画を羅針盤とし，安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。
5下水道の整備	B	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。また，下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき，計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めることができました。	下水道の効率的な整備，ストックマネジメント計画(平成３０年３月策定)に基づき，計画的に下水道施設の長寿命化を進めていきます。

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6公園・緑地の整備	B	公園施設の中でも最も更新の需要が見込まれる遊具施設については，平成２６年度に工事を実施したため，以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は，計画に基づき，工作物などの長寿命化工事を実施しております。	公園の長寿命化は，公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては，引き続き募集を募り，公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。
7住宅の整備	B	市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき，現在計画的な改善事業が進められています。 また，高齢者世帯,子育て世帯等，配慮すべき世帯の住居の安定のため，交通利便の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は，現在までの対象物件入居率が5～6割前後で推移しています。	市民が快適に安心して暮らせるためには，住宅の計画的な長寿命化や，民間住宅の効率的な活用等を通じて，暮らしやすい環境を整備することが重要であることから，今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。
8地域に調和した景観の整備	B	開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの，建築パトロールの実施件数は目標値を大きく上回っており，無秩序な宅地化や違反建築物の防止に関しては高い水準で成果を得ているといえ，市内における適正な土地利用ひいては秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。	目標に対する高い水準を維持するためには，適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから，引き続き計画的な事業実施に努めます。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅舎の橋上化，駅周辺のバリアフリー化

1 総括評価

	総括評価
A	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西自由通路が平成27年度に，西口駅前広場とＢＲＴ駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し，西口駅前広場の混雑も解消されました。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 更なる賑わいづくりのため，駅西口側のステーションパークの有効活用と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。

2 主要事業の概要

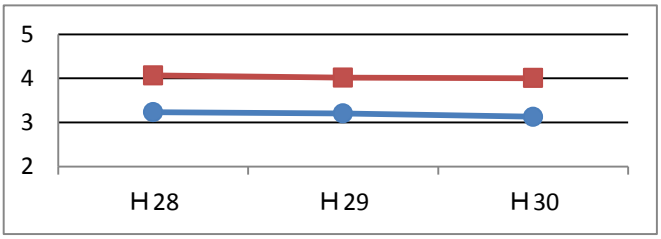
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
駐車場管理運営経費【都市計画課】	駅周辺の市営駐車場については，高齢化社会を踏まえ，ゆとりある駐車スペースの確保を図り，利用しやすい駐車場を目指します。
石岡駅周辺整備事業【都市計画課】	石岡市中心市街地活性化基本計画に基づき，石岡駅橋上化，東西自由通路，西口駅前広場及びBRTターミナル等の石岡駅周辺の整備をします。
自由通路維持管理経費【都市計画課】	石岡駅を中心とした土地利用整備により，東西を行交う通路として中心市街地の活性化を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850（H21）	4,880	3,904
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅舎，自由通路のバリアフリー化率	%	20.0（H22）	40	98.00
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人	1,459（H22）	1,750	2,428
市営駐車場利用率	一日平均利用台数	%	69.1（H24）	70	98.2

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.23	4.02
平成29年度調査	3.21	4.01
平成30年度調査	3.13	3.99

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行，路線バスの運行補助，バス専用道路の整備促進

1 総括評価

	総括評価
C	少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直され，その重要性は見直されているものの，主要な移動手段は自家用車が多く，路線バスをはじめとした，公共交通機関の利用者は減少しています。乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をし，手段自体の継続を支援することも必要ですが，公共交通制度を見直し，より利用してもらえる，今後も持続可能な交通網を形成する必要があります。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性
	既存の補助事業に加え，持続可能な公共交通網を形成するために，近隣自治体等と連携し，移動手段の再考と利用促進を一体的に進める必要があります。

2 主要事業の概要

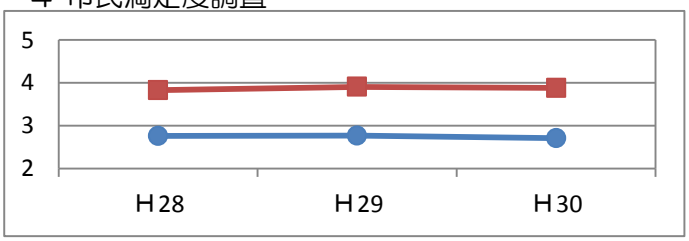
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業 【都市計画課】	移動制約者への移動手段の提供はできている。運行方法や利用方法を検討し，情報誌等への広報をすることで，更なる利用促進を図る必要がある。また，経費の削減を踏まえつつ，住民と協力した利用促進活動の実施と効率的な運行を一緒に実施する必要がある。これらの内容を実施するために，石岡市地域公共交通網形成計画を策定する。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,954 (H24)	8,000	7,707

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.76	3.83
平成29年度調査	2.77	3.91
平成30年度調査	2.71	3.88

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	03道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良，拡幅整備，維持管理，補修

1 総括評価

	総括評価
B	幹線道路の整備については，既に完了した1路線を除く5路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても，事業計画に基づき，効率的・効果的に事業を進めております。 既存道路の改良・拡幅整備については，必要・緊急性の高い箇所から待避所整備を進めており，市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて，限られた予算の中で効率的な事業を行っています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	道路の整備については，国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに，既存道路の改良・拡幅については，優先されるべき必要箇所を見極めながら，効率的な事業を推進していきます。

2 主要事業の概要

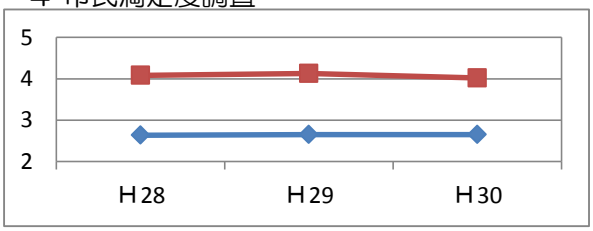
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画	現在，5路線において用地買収及び改良工事を進めており，今後も国・県補助金，合併特例債を活用して早期完成を目指します。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	本事業により，法令順守に対する住民への周知・啓発に一定の効果が期待できるため，今後も継続して取り組む。
地方道路等整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で，事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていく。
道路維持経費【道路建設課】	補修要望が年々増加傾向にあり，全て対応することが難しいことから，工事費の圧縮を行い，優先度の高い箇所から補修・改修を行っていく。
狭あい道路待避所整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で，必要性緊急性の高い箇所から効率的に整備を行う。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
合併支援道路整備延長	合併支援道路整備延長（6路線）	m	0（H22）	8,231	6,443
地方道路等の整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長	m	6,332（H22）	10,650	14,027
狭あい道路補助実施延長	狭あい道路整備事業により拡幅整備した道路延長	m	369（H22）	300	187.23
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数	箇所	6（H25）	34	17

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.64	4.08
平成29年度調査	2.65	4.13
平成30年度調査	2.65	4.02

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	04計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

	総括評価
B	本市の将来像や目標，都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成２８年度に策定し，続けて２９・３０年度の２箇年で石岡市立地適正化計画を策定予定です。 地籍調査事業においては，年次計画通りに実施し完了しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 マスタープランそして今後策定予定の立地適正化計画を羅針盤とし，安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。

2 主要事業の概要

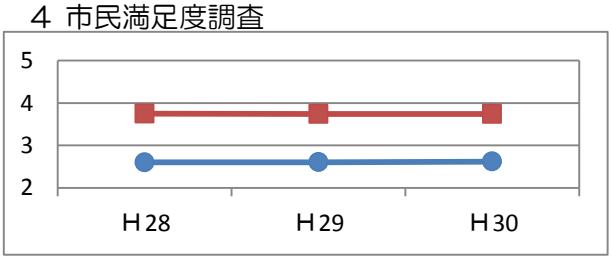
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費 【都市計画課】	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための都市計画法に基づく審議会であり，都市計画法，条例に基づき適正に運営していきます。
都市計画一般経費 【都市計画課】	都市計画マスタープランに基づき土地利用の効率化を進めていきます。景観計画に基づき，良好な景観の保全に努めます。
地籍調査事業 【地籍調査課】	年次計画に基づき、着実に事業を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 （実績値）
市街化区域内土地利用率	市街化区域内における都市的土地利用率	%	78.7 （H22）	79	80.7
国土利用計画法の制度周知ＰＲ	国土法に基づく適正な取引促進のための市報等でのＰＲ回数	回	1 （H22）	4	4
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	7 (H25)	2	16

4 市民満足度調査



	満足度 （●で表記）	重要度 （■で表記）
平成28年度調査	2.60	3.75
平成29年度調査	2.61	3.74
平成30年度調査	2.62	3.74

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	05下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備，合併浄化槽の補助

1 総括評価

	総括評価
B	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。また，下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき，計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めることができました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 下水道の効率的な整備，ストックマネジメント計画(平成３０年３月策定)に基づき，計画的に下水道施設の長寿命化を進めていきます。

2 主要事業の概要

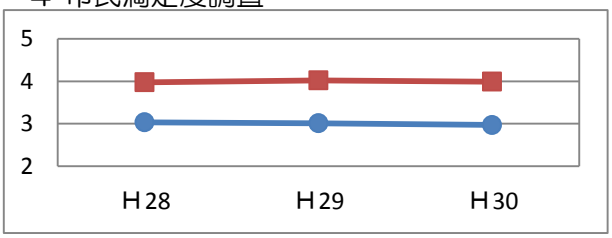
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
下水道会計（総括）【下水道課】	現状を鑑み，整備計画を見直しを行い，管渠，マンホールポンプ等を含めた下水道施設ストックマネジメント計画等による適正な施設の維持管理，長寿命化に取り組む必要があります。
農業集落排水事業会計（総括）【下水道課】	未接続者及び宅地内工事業者に平成30年度から新たに県で拡充した接続制度等の情報発信，未接続者への個別訪問等による接続依頼を継続し，接続向上に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	75.7（H22）	80	86.8
水洗化普及率（下水道）	水洗化済人口／処理区域人口	%	77.9（H22）	82.2	84.0
水洗化普及率（農業集落排水）	水洗化済戸数／処理区域戸数	%	56.1（H22）	65	66.0

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.03	3.98
平成29年度調査	3.01	4.02
平成30年度調査	2.97	3.99

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

	総括評価
B	公園施設の中でも最も更新の需要が見込まれる遊具施設については，平成２６年度に工事を実施したため，以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は，計画に基づき，工作物などの長寿命化工事を実施しております。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 公園の長寿命化は，公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては，引き続き募集を募り，公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

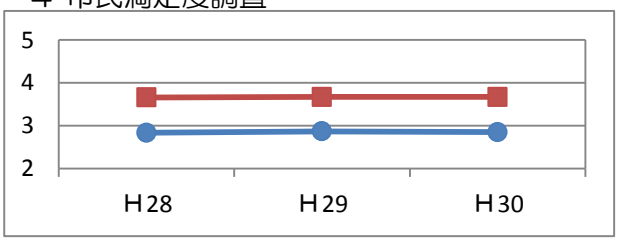
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
桜づつみ維持管理経費 【まちづくり協働課】	利用者の安全と，機能保持のため計画的な補修が必要です。
公園維持管理経費 【都市計画課】	公園長寿命化計画を進めながら，予防保全型維持管理への転換を積極的に図る。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
公園長寿命化計画	都市公園改修施設箇所	箇所	0（H24）	26	15
公園里親制度加入団体数	公園里親制度への加入団体数	団体	7（H22）	10	7

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.84	3.66
平成29年度調査	2.87	3.67
平成30年度調査	2.85	3.67

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	07住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修，木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

	総括評価
B	市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき，現在計画的な改善事業が進められています。 また，高齢者世帯,子育て世帯等，配慮すべき世帯の住居の安定のため，交通利便の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は，現在までの対象物件入居率が5～6割前後で推移しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が快適に安心して暮らせるためには，住宅の計画的な長寿命化や，民間住宅の効率的な活用等を通じて，暮らしやすい環境を整備することが重要であることから，今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。

2 主要事業の概要

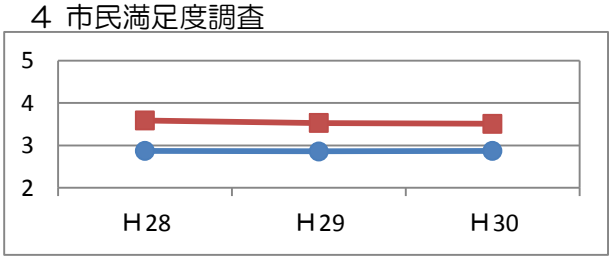
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次,改修工事を実施します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから，事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	民間賃貸住宅の活用について，市民への周知徹底を図るとともに，高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の居住の安定に努めます。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外住民に対する事業であり，主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため，事業継続が望ましいと考えられます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数	棟	7（H23）	24	2
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	14（H23）	30	16

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.87	3.59
平成29年度調査	2.86	3.53
平成30年度調査	2.87	3.51

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全，無秩序な宅地化や違反建築の防止

1 総括評価

	総括評価
B	開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの，建築パトロールの実施件数は目標値を大きく上回っており，無秩序な宅地化や違反建築物の防止に関しては高い水準で成果を得ているといえ，市内における適正な土地利用ひいては秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 目標に対する高い水準を維持するためには，適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから，引き続き計画的な事業実施に努めます。

2 主要事業の概要

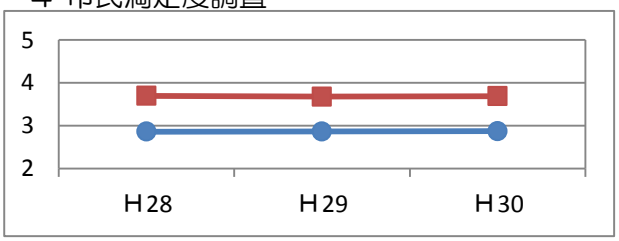
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
宅地開発指導経費 【建築住宅指導課】	今後も啓発リーフレットの作成・配布や，電話・文書等による催促，現地パトロール等により，目標達成水準の維持に努めます。
建築指導事業 【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており，上位目標の達成においても有効な事業であるため，引き続き適正な実施に努めます。
都市計画一般経費 【都市計画課】	都市計画マスタープランに基づき土地利用の効率化を進めていきます。景観計画に基づき，良好な景観の保全に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
建築パトロール	パトロール実施件数	件	74（H24）	60	82
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	131（H22）	85	74.07

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.86	3.69
平成29年度調査	2.86	3.68
平成30年度調査	2.87	3.69

02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1企業誘致の推進・工業の振興	A	圏央道の県内区間全線が開通し，首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成されるなど交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果，企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また，就職支援事業では，県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化，企業と高校のマッチングを図り，就職説明会を2回開催して目標を達成するなど，労働力の確保に努めました。	地域産業の維持・振興を図を図るため，引き続き新規企業の誘致，既存企業の事業拡大を支援し，雇用の創出を図っていきます。
2商業の振興・中心市街地の活性化	B	商業振興に関しては，景気は緩やかに回復傾向に向かっていおり，商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策，また，市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取組んでおりますが，成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については，一定の成果を揚げてきましたが，引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。	情勢の変化や市民ニーズ，事業・制度の変更等に的確に対応し，中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進ししてまいります。
3農林業の振興	B	農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり，経営転換や高齢化等による離農対策に寄与してます。 農作物の販売においては，直売所の伸びとともに，産地・大学等との連携による，高品質な果樹のブランド創りに取り組み，今後，知名度アップ，ブランドアップに期待が持てます。一方で，農業従事者については，高齢化が進む中で，担い手の確保・育成が課題となっています。	農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し，魅力ある農業，儲かる農業を目指します。また，集落営農の法人化や担い手の確保・育成を図っていきます。
4観光業の振興	A	石岡市への観光入込客数は，当初の目標を達成できました。平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており，計画の優先事業に取り組んだ結果，平成28年実績では1,475,600人であり，計画における観光入込客数は概ね順調です。	豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため，新たな観光振興計画を策定し，観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	01企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化，就職相談会や面接会の実施

1 総括評価

	総括評価
A	圏央道の県内区間全線が開通し，首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成されるなど交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果，企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また，就職支援事業では，県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化，企業と高校のマッチングを図り，就職説明会を2回開催して目標を達成するなど，労働力の確保に努めました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	地域産業の維持・振興を図を図るため，引き続き新規企業の誘致，既存企業の事業拡大を支援し，雇用の創出を図っていきます。

2 主要事業の概要

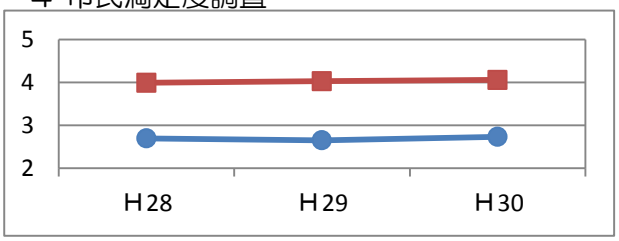
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業 【商工課】	工業団地内に新たな企業を受け入れる土地も十分ではないことから，周辺未利用地への立地促進や既存企業の事業拡大を支援し撤退抑止に努めるなど企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業 【商工課】	中小企業と地元志向の学生とのマッチングを推進し，定住人口減少の抑止に資するよう事業推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
柏原工業団地の土地利用率	柏原工業団地の敷地面積のうち工場等家屋の建築面積の占める割合	%	28.96（H22）	31.8	33.0
就職相談会，面接会の実施件数	企業の就職相談会及び面接会を開催する件数	回	0（H22）	2	2

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.70	3.99
平成29年度調査	2.65	4.03
平成30年度調査	2.73	4.06

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	02商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援，中心市街地での新規出店者支援

1 総括評価

	総括評価
B	商業振興に関しては，景気は緩やかに回復傾向に向かっていおり，商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策，また，市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取組んでおりますが，成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については，一定の成果を揚げてきましたが，引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 情勢の変化や市民ニーズ，事業・制度の変更等に的確に対応し，中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進ししてまいります。

2 主要事業の概要

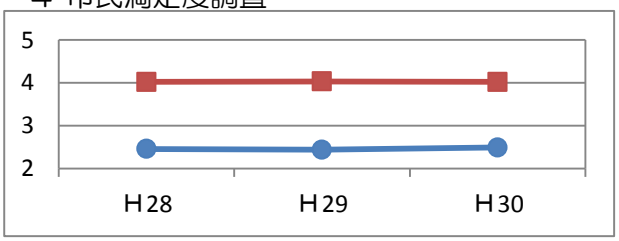
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
商工振興事業 【商工課】	関係団体等と協力し，魅力ある商店街の創出を検討し，交流人口の拡大を図ります。
中心市街地活性化事業 【商工課】	中心市街地活性化基本計画（第２期）の中で，見直しが必要な事業については，事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また，新規事業として，これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850（H21）	4,880	3,904
中心市街地の歩行者通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	2,644（H20）	2,780	2,181
年間商業販売額	商業統計調査による市内商業販売額	億円	1,191（H22）	1,191	1,053
中小企業事業資金保証料補給金件数	事業資金の融資を斡旋しその保証料を補給する件数	件	149（H22）	200	115

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.46	4.02
平成29年度調査	2.44	4.03
平成30年度調査	2.49	4.02

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進，新規就農者支援

1 総括評価

	総括評価
B	農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり，経営転換や高齢化等による離農対策に寄与してます。 農作物の販売においては，直売所の伸びとともに，産地・大学等との連携による，高品質な果樹のブランド創りに取り組み，今後，知名度アップ，ブランドアップに期待が持てます。一方で，農業従事者については，高齢化が進む中で，担い手の確保・育成が課題となっています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し，魅力ある農業，儲かる農業を目指します。また，集落営農の法人化や担い手の確保・育成を図っていきます。

2 主要事業の概要

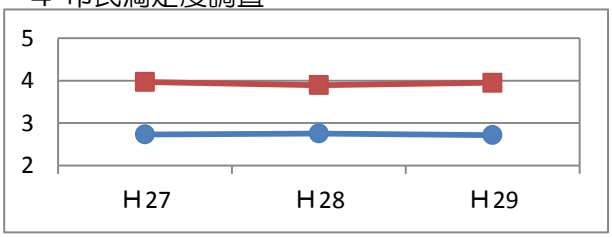
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
農業委員会一般経費 【農業委員会事務局】	農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積等に一定の成果が得られました。今後は農地の面的集積を図り，大規模経営体の育成が必要です。
農力アップ推進事業 【農政課】	県外に向けＰＲを実施しており，一定の知名度アップは図られている。今後は，魅力アップ・ブランドアップに注力し，継続した事業運営が必要。
新規就農者支援対策経費 【農政課】	積極的なＰＲ活動を展開し，新規就農者の確保を目指すとともに農業次世代人材投資資金，朝日里山ファームを活用した支援をしていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
農地利用権設定面積	農地の流動化推進と集積	ｈａ	413（H25）	718	703
人・農地プラン策定地区数	人・農地プランにおいて地域ごとの計画を策定する地区	地区	12（H25）	20	18
直売売上額	直売による売上額	千円	800,000（H25）	900,000	1,096,000
森林ボランティア数	市内森林の維持管理ボランティア新規登録者数	人	9（H25）	24	30

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.76	3.89
平成29年度調査	2.71	3.95
平成30年度調査	2.72	3.91

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

	総括評価
A	石岡市への観光入込客数は，当初の目標を達成できました。平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており，計画の優先事業に取り組んだ結果，平成28年実績では1,475,600人であり，計画における観光入込客数は概ね順調です。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため，新たな観光振興計画を策定し，観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。

2 主要事業の概要

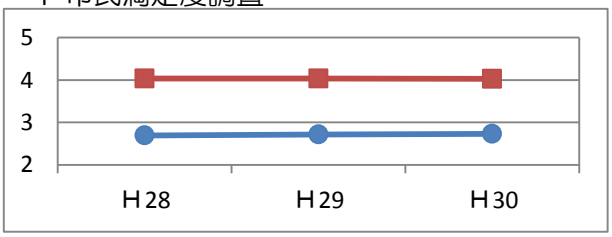
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
筑波山地域ジオパーク推進事業【観光課】	日本ジオパークに認定された筑波山地域ジオパークを新たな観光資源としてとらえ，ジオパークを利用した交流人口の拡大を図るなど，新たな事業を展開していく必要があります。
観光対策経費【観光課】	地域特性を活かした観光エリアの魅力アップ，周遊できる環境づくり，石岡ブランドの確立とＰＲに取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	835,400（H21）	1,250,000	1,475,600（H28）

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.69	4.03
平成29年度調査	2.72	4.03
平成30年度調査	2.73	4.03

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1交通安全の推進	B	交通安全の推進については，警察ほか関係諸団体と協力し，子どもたちの登校時における見守り活動や，毎月の街頭活動など啓発運動，子どもや高齢者への安全教育，交通安全施設の設置などを実施しています。 交通死亡事故は目標値であるゼロの達成に到っていませんが，交通事故の発生件数は減少しています。今後は，引き続き交通ルールの遵守や交通マナーの実践について運転者への啓発を行うとともに，市民の安心・安全を高めるための交通安全施設設置，高齢者への注意喚起などを行っていきます。	交通安全に関する意識向上を引き続き図り，交通事故のない安全なまちを目指します。
2防犯対策の充実	A	防犯灯の設置等が進んでおり，刑法犯罪件数の減少も見られることから，安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。
3消費生活の安全確保	B	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り，増加傾向にある苦情や相談等に対応し，消費者意識の向上を図っています。	市民生活の安定及び向上を目指します。
4省エネの推進・新エネルギー導入促進	B	新庁舎建設事業では，石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み，地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。 一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから，現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。	新庁舎建設事業では，環境に配慮した新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。
5上水道の整備	B	有収率向上のため定期的な漏水調査の取組みについては効果が認められますが,水道管の老朽化のため漏水の発生頻度が増加傾向にあります。更新については,財源,人材共に乏しく十分な更新が出来ているとは言いがたい状況ではありますが,漏水多発地区（トーホーランド）の布設替工事を平成２８年度より着手し今年度完了予定です。	安全で安定した水道水を供給するための施設管理及び漏水調査の回数を増やすと共に,老朽化施設の更新を行います。

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6循環型社会の構築	A	環境監視員の活動等により，不法投棄の早期発見につながっています。 １人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について，周知方法や取り組みを検討していきます。	更なるごみの減量化やリサイクル推進のため，市民に関心を持ってもらえるよう広報紙を含めた啓発の充実を図っていきます。
7環境保全の推進	B	河川水質等の分析及び公害等の各種調査・分析を行っております。現状の検査結果等では異常値はないことから，環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。また，身近なみどり整備推進事業では、計画時早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森林については現状をみながら進めざるを得ない状況です。	水質を浄化の啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要があります。また，荒廃した森林の間伐や県の森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。
8協働によるまちづくりの推進	B	石岡市協働のまちづくり条例施行後，市民満足度は向上しており，一定の成果を上げているといえます。	常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	01交通安全の推進
具体的取り組み例	安全で安心な道路・歩道環境の整備

1 総括評価

B	総括評価 交通安全の推進については，警察ほか関係諸団体と協力し，子どもたちの登校時における見守り活動や，毎月の街頭活動など啓発運動，子どもや高齢者への安全教育，交通安全施設の設置などを実施しています。 交通死亡事故は目標値であるゼロの達成に到っていませんが，交通事故の発生件数は減少しています。今後は，引き続き交通ルールの遵守や交通マナーの実践について運転者への啓発を行うとともに，市民の安心・安全を高めるための交通安全施設設置，高齢者への注意喚起などを行っていきます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 交通安全に関する意識向上を引き続き図り，交通事故のない安全なまちを目指します。

2 主要事業の概要

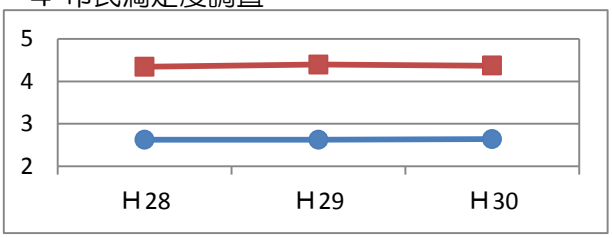
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費 【まちづくり推進課】	更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業 【道路建設課】	限られた予算の中で，必要性や緊急性の高い箇所から効率的に整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	8（H22）	0	7
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	300（H22）	270	222

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.62	4.34
平成29年度調査	2.62	4.40
平成30年度調査	2.64	4.37

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	02防犯対策の充実
具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上，街路灯・防犯灯の設置，エンゼルパトロールの実施

1 総括評価

	総括評価
A	防犯灯の設置等が進んでおり，刑法犯罪件数の減少も見られることから，安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

2 主要事業の概要

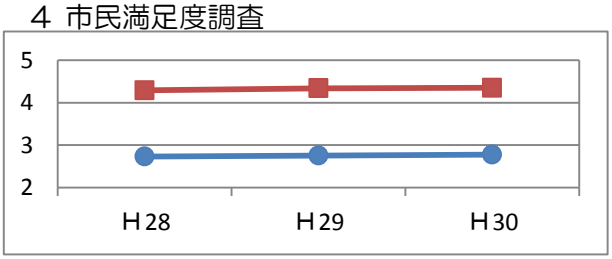
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
安全・安心まちづくり推進事業【まちづくり協働課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。
街路灯・防犯灯事業【まちづくり協働課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
防犯灯設置及び器具等交換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等交換灯数	灯	207（H24）	660	753
エンゼルパトロール登録者数	登録者数	人	986（H22）	1000	876
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	983（H22）	830	683

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.73	4.29
平成29年度調査	2.75	4.34
平成30年度調査	2.78	4.35

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	03消費生活の安全確保
具体的取り組み例	消費生活センターの設置，消費生活に関する苦情・相談の受付対応

1 総括評価

	総括評価
B	日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り，増加傾向にある苦情や相談等に対応し，消費者意識の向上を図っています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 市民生活の安定及び向上を目指します。

2 主要事業の概要

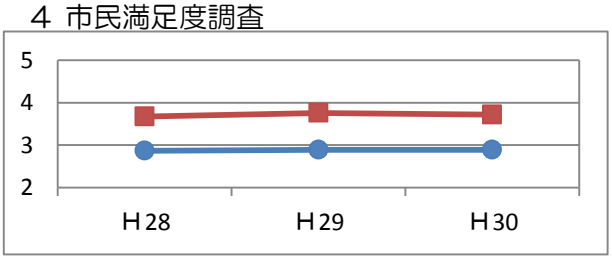
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消費者保護育成事業【まちづくり協働課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
相談件数	消費者トラブル等相談	件	399（H22）	270	369
出前講座	消費生活に関する出前講座	回	4（H22）	7	3
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件数	件	341（H22）	250	330

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.87	3.68
平成29年度調査	2.89	3.76
平成30年度調査	2.89	3.72

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	04省エネの推進・新エネルギー導入促進
具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施，公共施設における自然エネルギーの有効活用

1 総括評価

	総括評価
B	新庁舎建設事業では，石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み，地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。 一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから，現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 新庁舎建設事業では，環境に配慮した新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。

2 主要事業の概要

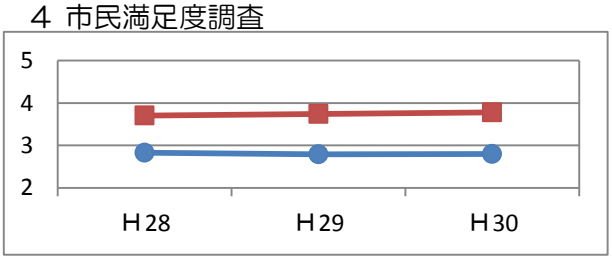
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業【管財課】	新庁舎建設工事の進捗状況など，適切な時期に広報等を行い，市民の理解を得ながら早期の完成を目指します。
省エネルギーの推進・新エネルギーの導入促進【生活環境課】	市の施設においてエネルギー使用量の削減に努めることで，5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
市の施設のエネルギー使用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量5年で5%以上削減（原油換算）	kl	3,590（H21）	3,374（H27）	3,068
市の施設における新エネルギーの導入件数	市の施設における新エネルギーの導入件数	件	1（H23）	2	1
意識啓発活動	環境学習等の実施回数	件	0（H24）	2	1

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.83	3.70
平成29年度調査	2.79	3.74
平成30年度調査	2.80	3.78

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	05上水道の整備
具体的取り組み例	老朽化した配水管の更新や整備，安定供給のための経営の効率化

1 総括評価

B	総括評価 有収率向上のため定期的な漏水調査の取組みについては効果が認められますが,水道管の老朽化のため漏水の発生頻度が増加傾向にあります。更新については,財源,人材共に乏しく十分な更新が出来ているとは言いがたい状況ではありますが,漏水多発地区（トーホーランド）の布設替工事を平成２８年度より着手し今年度完了予定です。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 安全で安定した水道水を供給するための施設管理及び漏水調査の回数を増やすと共に,老朽化施設の更新を行います。

2 主要事業の概要

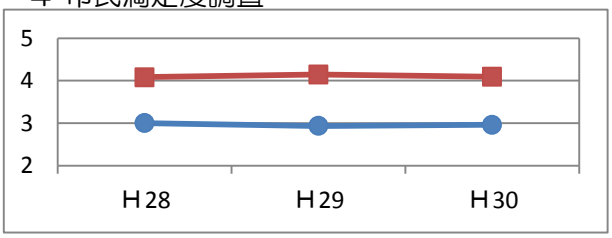
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
水道事業会計（総括）【水道課】	高料金対策及び統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する経費について,地方公営企業繰出金について,（総務省自治財政局長通知）に基づき繰出すことにより,上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
有収率	有収水量÷配水量	%	76（H22）	85	76.65

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.00	4.08
平成29年度調査	2.93	4.15
平成30年度調査	2.96	4.09

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	06循環型社会の構築
具体的取り組み例	ごみの減量化・リサイクルの推進，環境監視委員によるパトロール

1 総括評価

	総括評価
A	環境監視員の活動等により，不法投棄の早期発見につながっています。 １人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について，周知方法や取り組みを検討していきます。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性
	更なるごみの減量化やリサイクル推進のため，市民に関心を持ってもらえるよう広報紙を含めた啓発の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

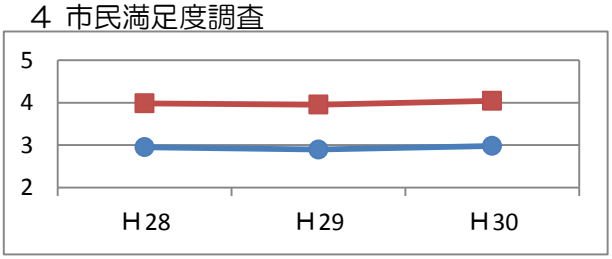
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ごみ減量・資源化推進事業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには，新規の登録団体や実施回数を増やすとともに，広報誌・HP等による周知活動が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
資源化率	年間に排出されるごみ量に占める資源ごみの割合	%	4.16（H22）	15	18.41
１人当たりの年間ごみ排出量	１人当たりの年間ごみ排出量	kg	323（H22）	322	346
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kl	2,937（H22）	2,307	1,764

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.95	3.98
平成29年度調査	2.89	3.95
平成30年度調査	2.98	4.04

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	07環境保全の推進
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動，森林の間伐・整備による里山の保全

1 総括評価

進捗状況評価	総括評価
B	河川水質等の分析及び公害等の各種調査・分析を行っております。現状の検査結果等では異常値はないことから，環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。また，身近なみどり整備推進事業では、計画時早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森林については現状をみながら進めざるを得ない状況です。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 水質を浄化の啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要があります。また，荒廃した森林の間伐や県の森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。

2 主要事業の概要

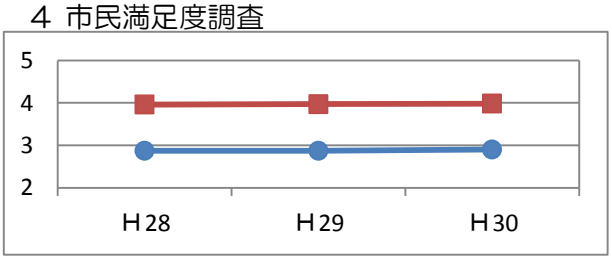
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
霞ヶ浦浄化対策経費【生活環境課】	合併浄化槽補助金の交付や水質浄化の啓発等により霞ヶ浦の水質浄化が図れています。協働で行う清掃事業を今後も地域に浸透させていきます。
霞ヶ浦浄化対策経費【下水道課】	国，県に本事業の維持及び拡大を要望し，本事業の推進に努めます。
公害対策経費【生活環境課】	問題発生から一定期間が経過しており，検査体制等を地元と協議していく必要があります。また，今後発生する公害にも対応する必要があります。
身近なみどり整備推進事業【農政課】	生活圏に近い荒廃した森林を整備することにより，安全な地域環境づくりに貢献していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
霞ヶ浦（西浦）のCOD	霞ヶ浦（西浦）におけるCODの年平均値（湖沼水質保全計画6期）	mg/l	8.7（H22）	7	7.2
公害苦情受理件数	大気汚染，水質汚濁，騒音・振動，悪臭等に関する年間苦情件数	件	18（H22）	15	23
里山整備箇所数	里山事業を取り入れた整備を実施する箇所数	箇所	0	2	0
水洗化普及率（合併処理浄化槽）	水洗化済人口／処理区域人口	%	18.4（H24）	20.5	23.9

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.87	3.96
平成29年度調査	2.87	3.97
平成30年度調査	2.90	3.98

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	08協働によるまちづくりの推進
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進，まちづくりについての情報発信

1 総括評価

	総括評価
B	石岡市協働のまちづくり条例施行後，市民満足度は向上しており，一定の成果を上げているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

2 主要事業の概要

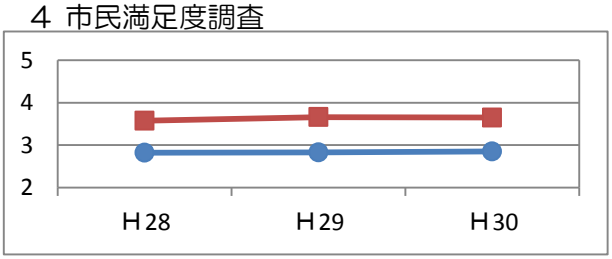
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
協働まちづくり推進事業【まちづくり協働課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により，市民と協力し，行われている事業を分析し，その事業の発展向上を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報誌・ＨＰへの掲載事例数	事例	3	10	2

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.82	3.58
平成29年度調査	2.83	3.66
平成30年度調査	2.85	3.65

04災害に強く安心して暮らせるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1消防・救急体制の充実	A	市民の生命・身体の保全を図るため，救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い，専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動（救命講習会）を実施し，バイスタンダーを育成して救命率の向上を目指しました。	市民の安全・安心を確保するためには，救急資機材の継続的な整備，応急手当の普及啓発，また，消防士・救急隊員の育成が必要です。
2防災機能の整備・強化	B	平成27年度より，市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また，平成８年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた統合を検討し，平成３2年度運用開始を目指し取り組んでいます。	今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また，被災者の福祉及び生活の安定を目指します。
3防災体制の充実	A	地域防災計画の総則，震災対策編，風水害対策編を改定し，石岡市地域防災計画に基づく災害体制の構築を進めています。また，災害時に市民が必要とする業務の継続，早期の復旧が可能となるよう，業務継続計画（BCP）を策定しています。	災害時に，市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。
4地域防災力の向上	B	行政と市民が防災に関する情報を共有し，自主防災組織の設立促進や地域防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また，地域防災訓練時にも住宅用火災警報器の設置を促進することで，市民の防災意識の向上を図り，安全確保に努めてきました。	自主防災組織率が，県平均を上回るよう積極的に推進するとともに，防災訓練への参加を促進し，地域防災力の向上に努めます。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	01消防・救急体制の充実
具体的取り組み例	救命講習会の開催，消防士・救急救命士の技能向上

1 総括評価

	総括評価
A	市民の生命・身体の保全を図るため，救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い，専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動（救命講習会）を実施し，バイスタンダーを育成して救命率の向上を目指しました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 市民の安全・安心を確保するためには，救急資機材の継続的な整備，応急手当の普及啓発，また，消防士・救急隊員の育成が必要です。

2 主要事業の概要

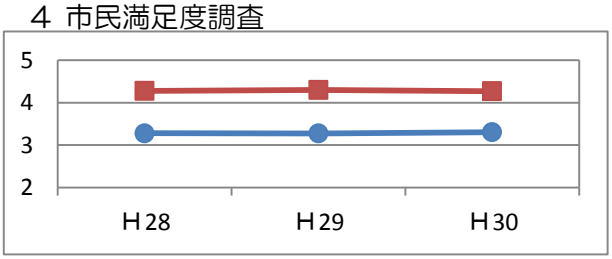
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消防機械整備事業（単独）【総務課（消防）】	更新計画に沿って継続的に実施していく必要があります。
救急活動経費【警防課（消防）】	救急車の資器材は定期的な点検が必要で，期限が定められている物は更新時に多額の経費を要します。救命講習会の受講者は，増加傾向にあり使用頻度が高い資器材を更新していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
救命率	家族等に応急手当を実施された傷病者の１カ月後生存率	%	5.3（H24）	5.4	13.2
消防救急無線デジタル化事業	消防救急無線デジタル化及び指令センターの共同整備，共同運用を行う。	台	0	20	20

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.28	4.27
平成29年度調査	3.28	4.30
平成30年度調査	3.30	4.27

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	02防災機能の整備・強化
具体的取り組み例	防災無線の積極的な運用，避難所の防災倉庫や備蓄品の適正な管理

1 総括評価

	総括評価
B	平成27年度より，市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また，平成８年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた統合を検討し，平成３２年度運用開始を目指し取り組んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また，被災者の福祉及び生活の安定を目指します。

2 主要事業の概要

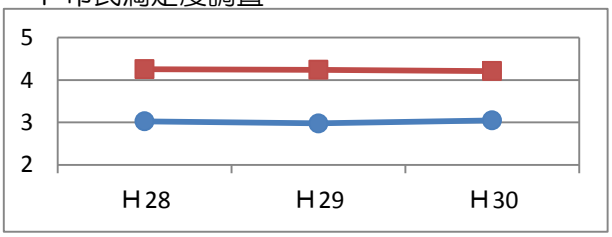
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災行政無線管理運用経費【防災対策課】	市内全域で防災行政無線を運用し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。今後も継続して適正な運用管理を図ります。
地震災害支援経費【社会福祉課】	災害によって被害を受けた市民に対して応急援護を図る見舞金支給事業であり，被災者の経済的な不安を和らげることを目的としています。
防災対策経費【総務課（支所）】	防災行政無線により，市民が必要とする情報等を一斉伝達しています。将来的にデジタル化へ移行する必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
防災行政無線の整備	防災行政無線の伝達範囲を市内全域とする（石岡地区・八郷地区）	地区	1（H25）	2	2
災害援護資金貸付件数	東日本大震災の被災世帯への貸付延べ件数	世帯	9（H25）	10	9
急傾斜地崩壊対策整備延長	急傾斜地崩壊対策事業による整備延長	m	271（H25）	372	322

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.02	4.25
平成29年度調査	2.98	4.24
平成30年度調査	3.05	4.21

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	03防災体制の充実
具体的取り組み例	地域防災計画の運用，業務継続計画（BCP）の運用

1 総括評価

	総括評価
A	地域防災計画の総則，震災対策編，風水害対策編を改定し，石岡市地域防災計画に基づく災害体制の構築を進めています。また，災害時に市民が必要とする業務の継続，早期の復旧が可能となるよう，業務継続計画（BCP）を策定しています。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 災害時に，市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。

2 主要事業の概要

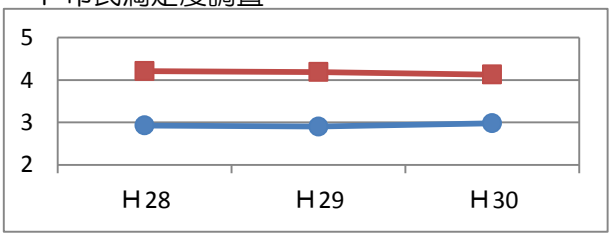
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災対策経費 【防災対策課】	防災備蓄品は，消費期限等を考慮して防災啓発や教育等に有効活用しています。今後も数量管理を徹底し適正に管理していきます。防災用資機材は，点検及び維持管理に努めていきます。職員に訓練や研修等を継続的に実施していきます。
防災対策経費 【総務課（支所）】	防災行政無線により，市民が必要とする情報等を一斉伝達しています。将来的にデジタル化へ移行する必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
防災情報の共有化	広報誌や防災講演会等による情報共有	回	12（H25）	16	24
災害時優先業務の早期復旧	業務継続計画の策定	式	―	1	1

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.93	4.21
平成29年度調査	2.90	4.19
平成30年度調査	2.98	4.13

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	04地域防災力の向上
具体的取り組み例	自主防災組織への支援，火災予防運動や危険物安全週間を通じた周知活動

1 総括評価

	総括評価
B	行政と市民が防災に関する情報を共有し，自主防災組織の設立促進や地域防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また，地域防災訓練時にも住宅用火災警報器の設置を促進することで，市民の防災意識の向上を図り，安全確保に努めてきました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 自主防災組織率が，県平均を上回るよう積極的に推進するとともに，防災訓練への参加を促進し，地域防災力の向上に努めます。

2 主要事業の概要

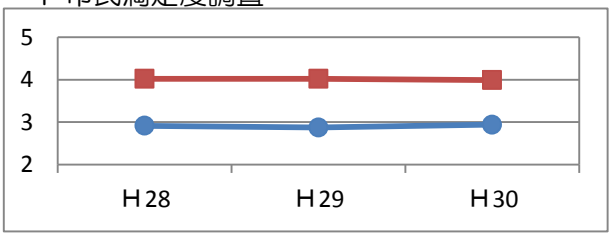
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
火災予防経費 【予防課（消防）】	市民の目線で広報活動を実施し，未設置者に理解を得る必要があります。
防災訓練経費 【防災対策課】	地域住民が主体となった防災訓練の実施に向け、出前講座等を継続的に行っていきます。
自主防災組織活性化事業 【防災対策課】	地域での防災研修会などに積極的に参加し，自主防災組織の設立促進を図るとともに，県の事業などを有効に活用し，活性化を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
地域防災訓練の実施	地域住民が中心となった防災訓練への参加人数（単年度）	人	60（H24）	300	581
自主防災組織の設立促進	自主防災組織の設立組織数	組織	126（H23）	150	154
自主防災組織の活性化	防災研修会等（単年度）	回	1（H24）	2	1
住宅用火災警報器の設置	設置率の推計値	%	60（H24）	74.6	72.2

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.91	4.02
平成29年度調査	2.87	4.02
平成30年度調査	2.94	3.99

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1健康づくりの推進	B	成果指標において，後期高齢者対象の人間ドック補助件数は，目標値を上回っていますが，それ以外は横ばい,常態または減少傾向となっています。市民満足度調査において，健康づくりの推進は重要度が高く，市民の関心や意識が高いことが伺われます。	「いしおか健康応援プラン」に基づいて，今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し，事業を推進していきます。
2地域医療の充実	C	市民の生命と健康のため，初期救急及び第2次救急医療の運営は順調に実施しています。しかし石岡地域において，平日夜間の小児初期救急が整備されておらず，また分娩できる産科がなくなっていることから，小児科医，産科医の確保が課題です。	近隣市とともに，医療関係者や市民，行政で構成する市民医療懇談会を設置し，石岡地域における今後の医療体制の在り方を協議，検討していきます。
3子育て環境の充実	A	児童手当・児童扶養手当・保育等の法に定められた事業については，適正に行っております。また，子育て支援事業等市が独自で行っている事業「おむつ無料クーポン」「家賃助成」については，経済的支援に貢献していくことが期待できます。このほか多様化する保育需要に対応するため受け皿確保については，平成29年度に市内施設全ての利用定員の見直しを行いました。	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。
4高齢者福祉や介護予防の充実	A	高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。また，日常生活支援総合事業対象者，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では，平成２９年度までが計画期間である第６期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や事業が適正な水準で実施されています。	高齢者が生涯現役で生きがいをもって現役で活躍できるよう社会参加活動を進め，第７期石岡ふれあい長寿プランに基づき，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5障がい者福祉の充実	A	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。
6地域福祉の充実	B	避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。	支援が必要な住民が住み慣れた地域で暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会等が連携して支援をしていきます。
7生活困窮者等の自立支援	A	生活保護申請受理とともに，各種助言や関係機関への紹介などにより，目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し，年間延べ１６９回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。	相談員の質的な向上を図るとともに，関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。
8社会保障制度の安定した運営	B	国民健康保険事業では，ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが，受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では，第６期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され，順調に進んでいます。 また，後期高齢者医療制度，医療福祉制度では，関係機関との連携により，適切な運用が図られました。	関係機関との連携を図り，安定した運営に努めます。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	予防接種への助成，妊婦や乳幼児健診の実施

1 総括評価

	総括評価
B	成果指標において，後期高齢者対象の人間ドック補助件数は，目標値を上回っていますが，それ以外は横ばい,常態または減少傾向となっています。市民満足度調査において，健康づくりの推進は重要度が高く，市民の関心や意識が高いことが伺われます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 「いしおか健康応援プラン」に基づいて，今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し，事業を推進していきます。

2 主要事業の概要

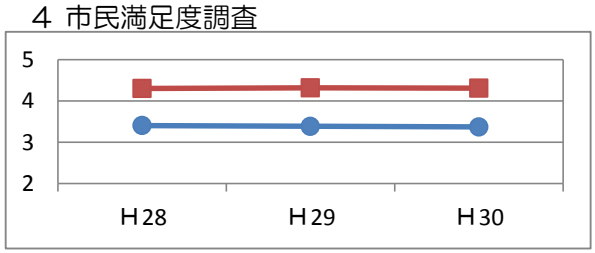
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業 【保険年金課】	人間ドック等の受診者数は昨年度より35人増の157人でした。今後も定期的な受診の推進と補助制度の周知に努めます。
成人保健事業 【健康増進課】	健康診査・がん検診の受けやすい検診体制を整えます。若い世代から健康行動を身に付け，自律的に健康維持等ができるように支援します。
健康づくり推進事業 【健康増進課】	生活習慣病予防のため，野菜摂取量増加及び適塩の普及啓発活動等を実施しています。また，歯と口腔の健康づくり推進のため，歯科医師会と連携しながら，啓発活動に取り組んで行きます。
母子保健事業 【健康増進課】	子育て世代包括支援センター事業により，相談体制が充実しました。妊婦歯科健診，産婦健診等で産前産後の健康づくりを推進します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 （実績値）
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	99.0 （H24）	99.5	98.0
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,219 （H24）	4,500	4,045
人間ドック補助件数	人間ドック・脳ドック・基本健診有脳ドックの補助件数	件	76 （H24）	100	157
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心をもち活動する人数	人	124 （H23）	130	128

4 市民満足度調査



	満足度 （●で表記）	重要度 （■で表記）
平成28年度調査	3.41	4.30
平成29年度調査	3.38	4.32
平成30年度調査	3.37	4.31

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確立，第二次救急診療の当番病院への運営補助

1 総括評価

	総括評価
C	市民の生命と健康のため，初期救急及び第2次救急医療の運営は順調に実施しています。しかし石岡地域において，平日夜間の小児初期救急が整備されておらず，また分娩できる産科がなくなっていることから，小児科医，産科医の確保が課題です。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 近隣市とともに，医療関係者や市民，行政で構成する市民医療懇談会を設置し，石岡地域における今後の医療体制の在り方を協議，検討していきます。

2 主要事業の概要

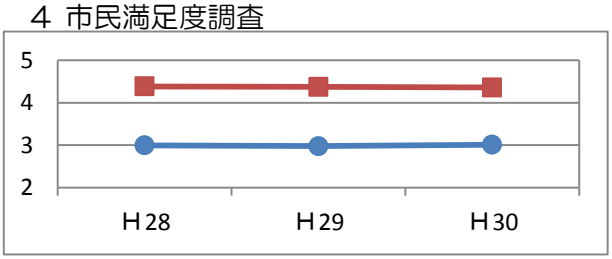
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保健衛生一般事務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施いたします。
診療業務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施いたします。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0（H22）	100	100
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100.0（H22）	100	100

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.99	4.38
平成29年度調査	2.98	4.37
平成30年度調査	3.01	4.36

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	地域子育て支援センターの設置，児童クラブの運営

1 総括評価

	総括評価
A	児童手当・児童扶養手当・保育等の法に定められた事業については，適正に行っております。また，子育て支援事業等市が独自で行っている事業「おむつ無料クーポン」「家賃助成」については，経済的支援に貢献していくことが期待できます。このほか多様化する保育需要に対応するため受け皿確保については，平成29年度に市内施設全ての利用定員の見直しを行いました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。

2 主要事業の概要

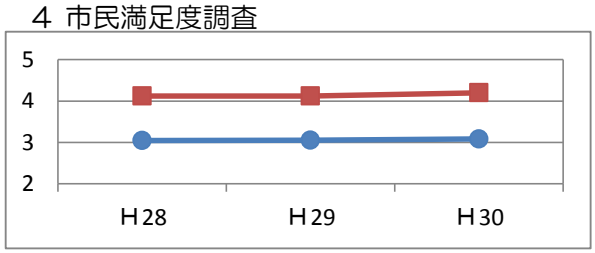
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
子育て支援事業 【こども福祉課】	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。また，子どもの育ちに係る費用を支援することにより，子育てしやすい環境を整え，少子化を抑制することを目指します。
保育等運営経費 【こども福祉課】	平成29年度において示された公定価格，人事院勧告，保育士等処遇改善の制度改定に伴い各施設の運営費加算分が，増加します。
保育支援関係経費 【こども福祉課】	国の基準を遵守して事業を行っています。今後も多様化する教育・保育サービスの対応して実施いたします。
児童手当経費 【こども福祉課】	制度内容の周知・申請期限などの手続きに関する通知等を引き続き丁寧に行います。また今後も現況届け未提出者の削減に努めます。
放課後児童健全育成事業 【生涯学習課】	公立児童クラブ運営の効率化，支援員の資質向上と確保に努めるとともに，公立児童クラブの民間委託の是非を含めた検討を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	13,563（H22）	15,000	28,460
待機児童数	入所資格を有するも，市内の保育所に入所ができない児童数	人	0（H22）	0	0
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	549（H22）	700	793

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.04	4.12
平成29年度調査	3.05	4.12
平成30年度調査	3.08	4.20

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	介護予防活動普及のための人材育成，生涯現役で活躍できる環境づくり

1 総括評価

	総括評価
A	高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。また，日常生活支援総合事業対象者，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では，平成２９年度までが計画期間である第６期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や事業が適正な水準で実施されています。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 高齢者が生涯現役で生きがいをもって現役で活躍できるよう社会参加活動を進め，第７期石岡ふれあい長寿プランに基づき，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

2 主要事業の概要

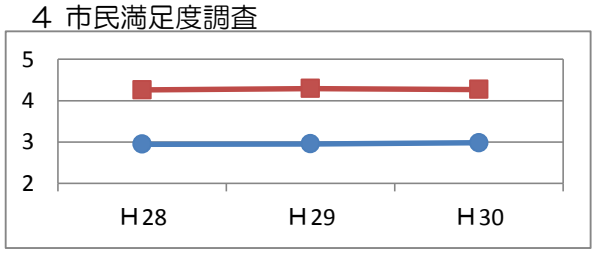
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
在宅高齢者サービス事業【高齢福祉課】	今後も高齢者が自立した生活を維持できるように継続的に事業の実施を行います。
介護保険特別会計（総括）	高齢者の増加に伴う需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが想定されます。事業の継続性と適正性の確保が求められています。
介護サービス事業会計（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており，「認知症施策」「在宅医療・介護連携の推進」「生活支援体制整備」等，介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ，必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ，事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
要支援・要介護認定者率	65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合	%	16.27（H24）	16.32	16.01
施設入所率	65歳以上の高齢者に占める施設入所者の割合	%	3.6（H24）	3.8	3.4
ケアマネジメント数	要支援１・２等のケアプラン作成件数	件	3,394（H22）	3,842	5,146
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士３級養成延数	人	0（H22）	100	116

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.95	4.26
平成29年度調査	2.95	4.29
平成30年度調査	2.98	4.27

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補助装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

	総括評価
A	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

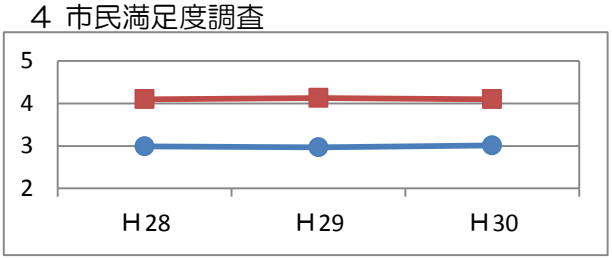
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障害者を支え，障害者の自立や社会参加等の推進が図られるため，適切であると考えられます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障害者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障害者の自立を支援していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設数	4（H25）	6	6
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	67（H25）	90	79

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.99	4.10
平成29年度調査	2.97	4.13
平成30年度調査	3.01	4.10

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

	総括評価
B	避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 支援が必要な住民が住み慣れた地域で暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会等が連携して支援をしていきます。

2 主要事業の概要

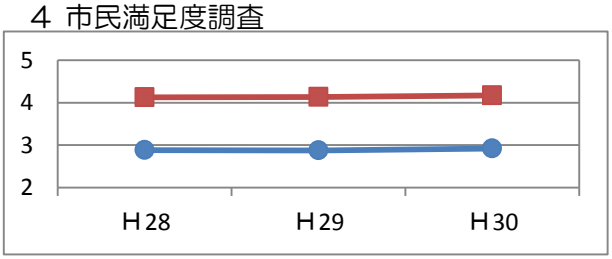
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費 【社会福祉課】	民生委員・児童委員が地域と行政のパイプ役となり，地域支えあいとなることで援助を必要とする人が自立した生活を営めるように支援します。
介護保険特別会計（総括） 【高齢福祉課】	高齢者の増加に伴う需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが想定されます。事業の継続性と適正性の確保が求められています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
避難行動要支援者に対する近隣支援者数	避難行動要支援者避難支援登録台帳に登録された近隣支援者の確保割合	%	52.8（H25）	80	52.76
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	184（H22）	180	174

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.88	4.13
平成29年度調査	2.88	4.13
平成30年度調査	2.92	4.17

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援，ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

	総括評価
A	生活保護申請受理とともに，各種助言や関係機関への紹介などにより，目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し，年間延べ１６９回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性
	相談員の質的な向上を図るとともに，関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

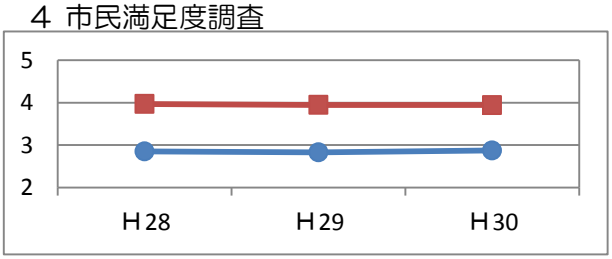
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	国のセーフティーネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
生活困窮者自立支援事業【社会福祉課】	広報等に努め，相談件数や支援件数が増えるよう取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち，増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	26（H24）	30	25.33
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38（H24）	40	48

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.85	3.97
平成29年度調査	2.83	3.94
平成30年度調査	2.87	3.94

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	ウォーキング大会の実施などによる生活習慣病予防活動，介護サービスの実施

1 総括評価

	総括評価
B	国民健康保険事業では，ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが，受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では，第６期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され，順調に進んでいます。 また，後期高齢者医療制度，医療福祉制度では，関係機関との連携により，適切な運用が図られました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 関係機関との連携を図り，安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

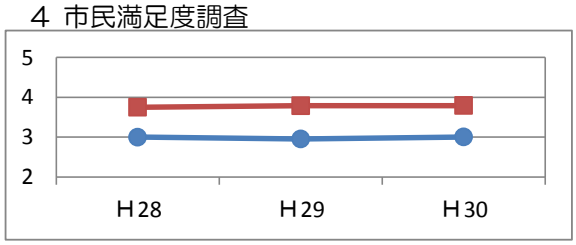
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計（総括）【保険年金課】	国民健康保険は，平成３０年度から県が財政運営の責任主体となり，市町村は引き続き資格管理，保険給付，保険税の賦課・徴収及び保健事業を実施していきます。
後期高齢者医療会計（総括）【保険年金課】	茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し，市の担当業務を適正に進めます。徴収事務は公平公正な保険料徴収に努め，徴収率向上を目指します。
医療福祉一般事務費【保険年金課】	今後も制度改正に留意し，条例等に基づき事業を適正に実施していきます。
医療福祉市単独事業【保険年金課】	県制度の改正も関与してくるため，制度改正等に留意し，条例等に基づき事業を適切に実施していきます。
介護保険特別会計（総括）	高齢者の増加に伴う需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが想定されます。事業の継続性と適正性の確保が求められています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
国民健康保険税収納率・（現年度分）	国民健康保険税収納額／国民健康保険税調定額	%	87.3（H22）	90	92.02
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数／特定健康診査受診対象者数	%	30.2（H22）	60	36.7（H28）
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者／特定保健指導対象者数	%	21.3（H24）	60	41.6（H28）
介護（介護予防）サービス利用者数	居宅介護・地域密着型・施設サービス利用者数	人	30,196（H22）	35,100	39,831

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.00	3.75
平成29年度調査	2.96	3.79
平成30年度調査	3.00	3.79

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
01創意ある学校教育の推進	B	目標値に達していない指標があるものの，ふるさと学習を取り入れるなど，各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また，学校給食の実施においては，地場産物の活用率は目標を達成しており，今後も地元産食材の活用を推進してまいります。	学校・保護者・地域の人々により，連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。
2学校施設の整備・充実	B	校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し，安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。	小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，望ましい教育環境の整ったまちを目指します。
3生涯学習の推進	B	生涯学習情報の収集や提供を行い，生涯学習の推進を推進を図っており ます。市民の「生きがい」創出や，知識・経験ともに豊富な地域の人材を 大いに活用し，社会還元型の生涯学習を進めます。	市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。
4生涯スポーツの推進	B	全体としての体育施設利用人数は低下しておりますが，種目別でみると陸上競技場・石岡小学校屋内温水プール施設などの利用者は増加傾向にあります。 少子化等の理由により，体育協会加盟登録人数とスポーツ少年団加盟登録人数の増加が達成できていません。しかし，市民を対象とした各種スポーツ教室等を開催することで，スポーツ人口の底上げに努めています。 今後は，市民がどのようなスポーツを求めているか把握し，そのニーズに応じて既存施設を利活用しながら，スポーツの場を提供していく必要があります。	幅広い年齢層や様々なニーズに応えられるよう，施設の維持管理や環境整備を行います。
5文化・芸術の推進	B	市民会館は築50年を迎え老朽化が進んでおりますが，施設の特性に応じた活用が図られ，地域の文化振興や事業の拠点として，一定の役割を果たしています。また，自主的に文化芸術活動を行う団体を支援することで，様々な活動に参加する機会の充実を図りました。	施設の適正な管理と維持に努めながら，地域の文化施設の拠点となるような運営に取り組みます。また，文化芸術振興基本計画を策定し，市民や文化芸術活動団体への支援や機会の提供に努め，文化芸術活動の活性化を図ります。

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6青少年の健全育成	B	青少年の健全育成を目指し，各種事業を実施しております。家庭，学校，地域と連携をとりながら，指導体制の充実や社会環境の健全化活動により，地域に根ざした活動を推進しています。	青少年が心身ともに健やかに成長できるよう，地域に根ざした青少年を育てる会活動や青少年相談員の街頭活動を推進していく。
7歴史・文化財の保護・活用	A	発掘調査経費，文化財保存及び普及経費の事務事業について各種事務を計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財件数は145件となり目標に達成しています。また，市民満足度調査の数値もさらに改善されていることから，ふるさと歴史館における定期的な企画展や文化財調査報告会などの取り組みに一定の成果があったと考えられます。	開発地や重要遺跡の発掘調査を進めるとともに，個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	01創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

	総括評価
B	目標値に達していない指標があるものの，ふるさと学習を取り入れるなど，各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また，学校給食の実施においては，地場産物の活用率は目標を達成しており，今後も地元産食材の活用を推進してまいります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 学校・保護者・地域の人々により，連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。

2 主要事業の概要

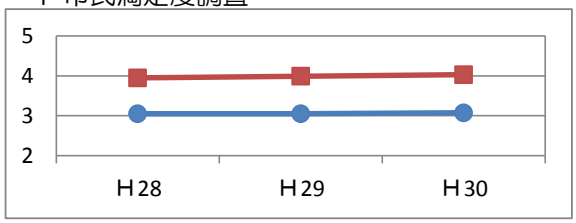
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
語学指導事業【教育総務課】	AETを活用することで,児童生徒が英語に慣れ親しみ,意欲的に取り組むことができています。今後は，AETの拡充や研修等の充実を図っていきます。
学校いきいきプラン推進事業（小・中学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されています。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに，経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要です。
八郷給食センター調理業務経費【学校給食課】	継続して衛生管理の徹底及び衛生教育を実施することで，今後も安全・安心な給食の提供を実施します。
石岡給食センター調理業務経費【学校給食課】	今後もより一層の衛生管理と衛生教育を実施します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
いきいきプラン年間事業件数	年間いきいきプラン開催数・	回	235（H25）	290	233
英語に興味を持つ児童数の割合（小学校）	英語でもっと会話をしたいと思う児童数の割合	%	89.8（H25）	95	93.5
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数(中学校)	インタラクティブフォーラム地区予選最終選考に進出した生徒数	人	2（H25）	4	0
地場産物の活用	第2次茨城県食育推進計画目標値35%（H27年度）	%	32.0（H24）	47.0	53.7

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.02	3.98
平成29年度調査	3.05	3.95
平成30年度調査	3.07	4.03

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事や耐震化，小中学校への空調設備の導入

1 総括評価

	総括評価
B	校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し，安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，望ましい教育環境の整ったまちを目指します。

2 主要事業の概要

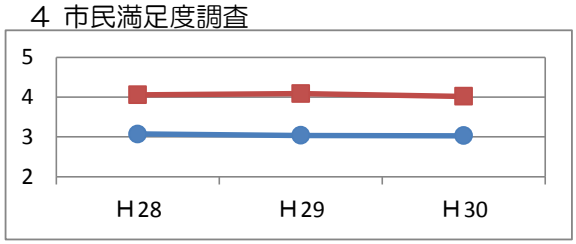
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校管理運営経費（小・中学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができた。今後も事業費の削減余地について検討が必要です。
学校施設耐震化事業（小・中学校）【教育総	平成27年度末をもって耐震化率は100%になりました。
学校施設環境改善事業（中学校）【教育総務課】	平成27年度で普通教室に空調を整備することができました。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数÷児童生徒総数	%	58.7（H23）	74.1	69.4
学校施設耐震化率	耐震化施設棟数÷全施設棟数（200㎡以上）	%	77.9（H22）	100.0	100

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.07	4.06
平成29年度調査	3.04	4.09
平成30年度調査	3.03	4.02

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催，図書館の利用促進

1 総括評価

	総括評価
B	生涯学習情報の収集や提供を行い，生涯学習の推進を推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し，社会還元型の生涯学習を進めます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

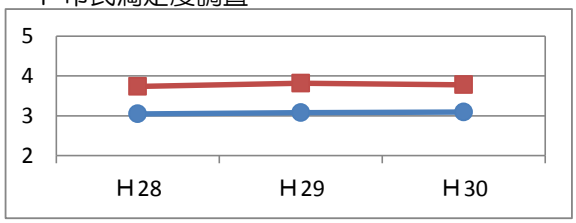
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費【生涯学習課】	図書館資料の充実を図り，市民のニーズに沿った資料や情報の提供を中心に図書館サービスの向上に努めています。講演会やイベントなど市民が気軽に参加できる行事を開催し，親しみの持たれる図書館づくりを進めます。
中央公民館管理運営経費【中央公民館】	市民がいきいきと生活が出来るよう，各種講座等を開催し，学習の機会を提供します。施設環境を整備するとともに，利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	地域の協力者やボランティア，学校と連携して事業を実施し，子どもたちの社会性，自主性，創造性等の豊かな人間性をかん養することができました。また，放課後児童クラブに入所する児童も含め希望者全員が参加でき，効率的な運営ができるよう，民間委託の是非を含む検討を進めています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	-	1,000	2,376
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	59,800（H22）	53,000	49,886
図書資料蔵書数	一般書，児童書，雑誌及び視聴覚資料の総数	作品	194,011（H25）	225,000	209,455
来館者数	中央図書館への年度間来館者数	人	128,310（H25）	140,000	167,715

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.05	3.74
平成29年度調査	3.08	3.82
平成30年度調査	3.09	3.78

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

	総括評価
B	全体としての体育施設利用人数は低下しておりますが，種目別でみると陸上競技場・石岡小学校屋内温水プール施設などの利用者は増加傾向にあります。 少子化等の理由により，体育協会加盟登録人数とスポーツ少年団加盟登録人数の増加が達成できていません。しかし，市民を対象とした各種スポーツ教室等を開催することで，スポーツ人口の底上げに努めています。 今後は，市民がどのようなスポーツを求めているか把握し，そのニーズに応じて既存施設を利活用しながら，スポーツの場を提供していく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	幅広い年齢層や様々なニーズに応えられるよう，施設の維持管理や環境整備を行います。

2 主要事業の概要

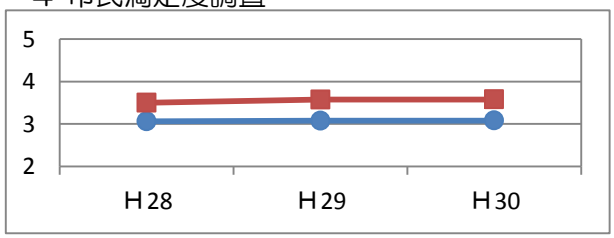
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業 【スポーツ振興課】	市民の健康増進と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに，市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
体育施設利用人数	体育施設を利用した延べ人数	人	386,720（H22）	400,000	319,845
石岡市体育協会加盟登録人数	石岡市体育協会への加盟登録人数	人	2,406（H22）	2,400	2,069
スポーツ少年団加盟登録人数	スポーツ少年団への加盟登録人数	人	1,012（H22）	1,000	820
【参考指標】 学校開放利用人数	学校開放により市内小・中学校を利用した人数	人	83,872（H22）	85,000	91,731

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.06	3.50
平成29年度調査	3.08	3.58
平成30年度調査	3.08	3.58

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・芸術祭・文化祭などの開催，文化活動支援

1 総括評価

B	総括評価 市民会館は築50年を迎え老朽化が進んでおりますが，施設の特性に応じた活用が図られ，地域の文化振興や事業の拠点として，一定の役割を果たしています。また，自主的に文化芸術活動を行う団体を支援することで，様々な活動に参加する機会の充実を図りました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 施設の適正な管理と維持に努めながら，地域の文化施設の拠点となるような運営に取り組みます。また，文化芸術振興基本計画を策定し，市民や文化芸術活動団体への支援や機会の提供に努め，文化芸術活動の活性化を図ります。

2 主要事業の概要

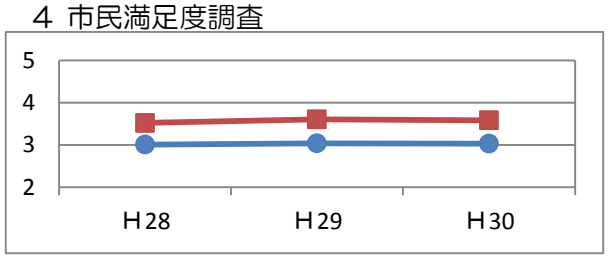
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
施設運営経費 【市民会館】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した市民会館運営を行うとともに，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
施設維持管理経費 【市民会館】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した市民会館運営を行うとともに，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
芸術・文化振興事業 【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民と連携を図りながら，市民の自主的な文化芸術活動の展開に取り組んできました。今後は，将来の世代にわたり地域の文化や伝統を守り育てるため，市民の自主的で個性的な文化活動を支援するとともに，その担い手である市民の意見が反映された文化芸術振興基本計画の策定に取り組みます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等（８室）の利用人数	人	63,958（H24）	65,000	56,171
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	1,388（H24）	1,500	964
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	33（H24）	35	34

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.01	3.52
平成29年度調査	3.04	3.60
平成30年度調査	3.03	3.58

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	06青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動などの補助・支援，青少年を育てる会の活動補助

1 総括評価

	総括評価
B	青少年の健全育成を目指し，各種事業を実施しております。家庭，学校，地域と連携をとりながら，指導体制の充実や社会環境の健全化活動により，地域に根ざした活動を推進しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 青少年が心身ともに健やかに成長できるよう，地域に根ざした青少年を育てる会活動や青少年相談員の街頭活動を推進していく。

2 主要事業の概要

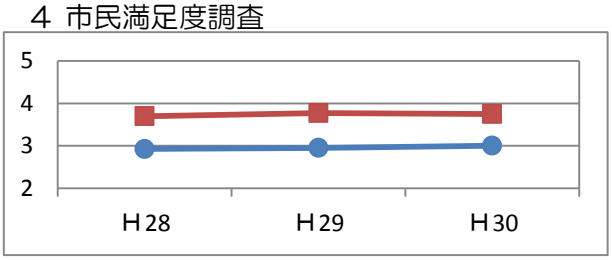
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年育成事業 【生涯学習課】	定期的な街頭指導活動により，徐々に青少年相談員活動は市民に認知されてきましたが，今後も積極的な青少年相談員活動を行い，青少年の健全育成のため活動を続けていく必要があります。
子ども会育成事業 【生涯学習課】	子どもの健全育成のために石岡市子ども会育成連合会が行う事業について，支援していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	78（H24）	80	67
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6（H24）	7	6
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	6（H24）	7	6
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	9（H24）	10	11

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.92	3.70
平成29年度調査	2.95	3.77
平成30年度調査	3.00	3.75

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援，文化財の有効活用

1 総括評価

	総括評価
A	発掘調査経費，文化財保存及び普及経費の事務事業について各種事務を計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財件数は145件となり目標に達成しています。また，市民満足度調査の数値もさらに改善されていることから，ふるさと歴史館における定期的な企画展や文化財調査報告会などの取り組みに一定の成果があったと考えられます。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 開発地や重要遺跡の発掘調査を進めるとともに，個々の文化財の特性に応じた保護・活用に取り組みます。

2 主要事業の概要

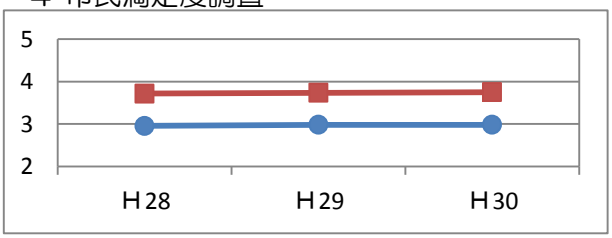
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費【文化振興課】	全体的な件数は例年よりやや多いといえます。今後も事業を現状維持で実施します。茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を開始し，茨城廃寺跡の国市指定史跡化を視野に入れ遺跡としての価値を高めます。
文化財保護保存及び普及経費【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は，今後ますます重要度が増すと思われることから，積極的に普及啓発の推進を図っていきます。また，国指定文化財については，順次，保存活用計画の策定を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	141（H23）	143	145

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.95	3.72
平成29年度調査	2.98	3.74
平成30年度調査	2.98	3.75

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1積極的な情報発信と対話の充実	B	「市長へのたより」やタウンミーティングの実施を通して，市民との対話の充実に努めています。また，広報紙やホームページなどを活用し，積極的な情報発信に努めています。事務事業の進捗状況から，当初の目的を達成しつつあります。	市政に関する情報を，市民と共有する開かれたまちづくりを目指し，今後も時代の流れに即した情報発信手法を随時調査・研究し，市民の市政への関心をより高めてまいります。
2庁舎の整備・行政サービスの充実	B	施設や設備・機器等の経年劣化が進行しているため，改修や修繕・更新等が必要です。現在，本庁では，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため新庁舎建設を進めています。また，行政サービスの充実に向け，マイナンバーカードで各種証明書等の発行ができるキオスク端末機を本庁に設置したことにより一定の効果は認められる。	庁舎の整備や，キオスク端末機による各種証明書等の発行サービスにより，より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。
3地域情報化の推進	B	ウェブアクセシビリティ基準におけるウェブコンテンツJIS X 8341-3:2010達成等級のAA等級を達成していますが，新基準のJIS X 8341-3:2016達成レベルAAAを達成できるようホームページの見直しを行い，維持できるよう努めてまいります。また，各種システム及び機器の安定稼働を年間を通して実施することができました。	石岡市地域情報化計画に基づき，国・県の計画と整合性を図りながら，システムのクラウド化等，新たな技術動向や社会情勢等を調査研究し，時代に即した効率的な行政運営を図るため，業務システムの最適化を目指します。また，ウェブアクセシビリティ達成レベルAAAを達成できるよう努めます。
4広域行政の推進	B	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体と一部事務組合を構成し，広域的な行政サービスに取り組んでいます。また，平成２８年３月に行方市，小美玉市及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき，市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体との連携を進めていきます。

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5男女共同参画の推進	B	少子高齢化が進行し，生産年齢人口・年少人口の減少に伴い労働力の確保が課題となる中，男女が互いに理解し協力しあう男女共同参画の理念が重要となっています。そのような中で，市の政策決定に関わる審議会等への女性委員の積極的登用や，理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保，さらには企業等への啓発などが課題となっています。	本年度から計画期間が始まる第2次石岡市男女共同参画基本計画に基づき，関係課と連携し，事業を実施します。
6国際交流の推進	A	市内の国際交流団体と連携し，施策を推進しています。平成28年度より実施している災害時語学ボランティア制度の充実を始め，外国人等を対象とした救命講習会を実施するなど防災対策にも取り組んでいます。	市内の国際交流団体と連携し，各団体の活動を支援するとともに，市民の国際交流へに関心を高めていきます。また，様々な国の人々との幅広い交流や国際感覚豊かな人材の育成等が課題となっています。
7人材育成の強化	A	石岡市職員人材育成基本方針に基づき，毎年度，職員研修実施計画を作成し，職務遂行に必要な知識，技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また，職員の健康管理については，健康診断後の保健指導が必要な職員へのフォローアップとともに，心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施することなどのメンタルヘルス対策を行っています。	今後とも基本的な研修だけでなく，専門的及び実践的な研修に力を入れ，職員に必要とされる能力を育成するため様々な研修を実施するとともに，研修のための職員派遣を積極的に行います。職員の健康管理については，引続き健康診断後の職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策に取り組みます。
8行財政改革の推進	B	石岡市行財政改革大綱のテーマである「行政資産の強化と公共サービスの最適化」を目指し，①財政運営の充実，②人財の強化，③協働によるまちづくりの推進，④行政サービスの最適化，4つの取組方針，46の実施項目を掲げ，庁内各部局の取り組み状況等を毎年進行管理しています。 平成29年度は46実施項目のうち，36項目実施中となりました。残りの10項目についても，スケジュールに沿って進められています。	行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため，個々の実施項目について毎年度ローリング方式による見直しを行い，各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	01積極的な情報発信と対話の充実
具体的取り組み例	タウンミーティング等の対話の実施，戦略的・効果的な情報発信

1 総括評価

	総括評価
B	「市長へのたより」やタウンミーティングの実施を通して，市民との対話の充実に努めています。また，広報紙やホームページなどを活用し，積極的な情報発信に努めています。事務事業の進捗状況から，当初の目的を達成しつつあります。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 市政に関する情報を，市民と共有する開かれたまちづくりを目指し，今後も時代の流れに即した情報発信手法を随時調査・研究し，市民の市政への関心をより高めてまいります。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
議員活動運営経費 【庶務議事課】	議会ホームページの運用や議会広報紙の発行，議会報告会の開催など，積極的な情報発信に努めてきました。新庁舎供用開始後，議会は現在の八郷総合支所から本庁舎へ移転し，同時にインターネット中継を導入する予定です。より効果的な情報発信に向けて環境整備を進めていきます。
広報活動経費 【秘書広聴課】	広報紙については，29年度県広報コンクールにおいて特集記事が入選となるなど，一定の評価を得ることができました。今後も，市民の活動のきっかけとなるような広報紙面づくりを進めていきます。併せて，広報紙では賄いきれない部分について，ホームページの充実や他の発信ツール等を活用するなどして，市民全体に情報を広く発信していきます。

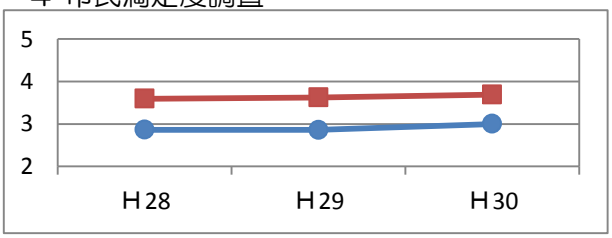
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
ホームページアクセス件数	市ホームページへのアクセス件数	件	304,323（H22）	450,000	177,194※
ホームページアクセス件数	議会ホームページへのアクセス件数	件	20,506（H22）	24,000	21,525
市民からの市政への提案数	「市長へのたより」における提案型の内容の割合	%	15（H24）	30	20

※一定時間内の同一パソコンからのアクセスは何度アクセスしても1件とする計測方法により算出しています。

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.86	3.59
平成29年度調査	2.86	3.62
平成30年度調査	3.00	3.69

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	02庁舎の整備・行政サービスの充実
具体的取り組み例	住民票等自動交付機の運用や窓口延長サービス，防災機能を備えた使いやすい新庁舎整備

1 総括評価

B	総括評価 施設や設備・機器等の経年劣化が進行しているため，改修や修繕・更新等が必要です。現在，本庁では，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため新庁舎建設を進めています。また，行政サービスの充実に向け，マイナンバーカードで各種証明書等の発行ができるキオスク端末機を本庁に設置したことにより一定の効果は認められる。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 庁舎の整備や，キオスク端末機による各種証明書等の発行サービスにより，より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。

2 主要事業の概要

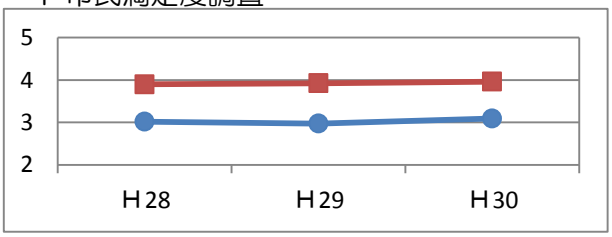
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業【管財課】	新庁舎建設工事の進捗状況など，適切な時期に広報等を行い，市民の理解を得ながら早期の完成を目指します。
総合支所維持管理経費【支所総務課】	施設および設備を計画的に修繕・改修していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
自動交付機の利用率の向上	いしおか市民カード，住民基本台帳カードの保有率	%	48.0（H23）	60	-

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	3.02	3.90
平成29年度調査	2.97	3.92
平成30年度調査	3.09	3.96

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	03地域情報化の推進
具体的取り組み例	情報システム基盤の最適化やセキュリティ強化，公共施設予約システムの構築

1 総括評価

	総括評価
B	ウェブアクセシビリティ基準におけるウェブコンテンツJIS X 8341-3:2010達成等級のAA等級を達成していますが，新基準のJIS X 8341-3:2016達成レベルAAAを達成できるようホームページの見直しを行い，維持できるよう努めてまいります。また，各種システム及び機器の安定稼働を年間を通して実施することができました。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 石岡市地域情報化計画に基づき，国・県の計画と整合性を図りながら，システムのクラウド化等，新たな技術動向や社会情勢等を調査研究し，時代に即した効率的な行政運営を図るため，業務システムの最適化を目指します。また，ウェブアクセシビリティ達成レベルAAAを達成できるよう努めます。

2 主要事業の概要

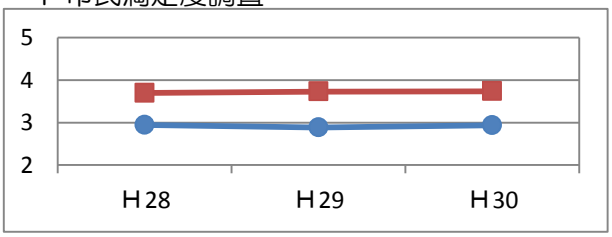
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
電算業務経費 【情報政策課】	基幹系システムの安定運用を行うことにより，継続した住民サービスを可能とすると共に,クラウドコンピューティング等新たな技術動向を踏まえながら,より信頼性のある安全で効率的なシステム構築を行なっていきます。
システム導入・推進経費 【情報政策課】	情報資産等を保護し，信頼性のある安全な業務環境を構築し，継続して質の高い住民サービスを提供して行くため，継続してセキュリティ対策を実施していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 （実績値）
ウェブアクセシビリティ達成基準	ウェブコンテンツ「JIS X 8341-3:2010に準拠」の達成等級	等級	A （H24）	AA	AA
各種システム・機器の安定稼動	各種システム及び機器の安定稼動を継続します。	日	365 （H22）	365	357

4 市民満足度調査



	満足度 （●で表記）	重要度 （■で表記）
平成28年度調査	2.94	3.70
平成29年度調査	2.88	3.73
平成30年度調査	2.94	3.74

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	04広域行政の推進
具体的取り組み例	周辺自治体との連携強化，広域事務処理の見直し

1 総括評価

	総括評価
B	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体と一部事務組合を構成し，広域的な行政サービスに取り組んでいます。また，平成２８年３月に行方市，小美玉市及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき，市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体との連携を進めていきます。

2 主要事業の概要

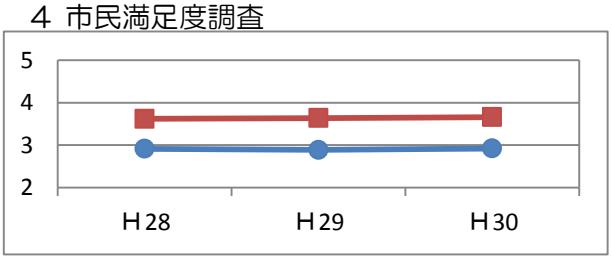
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
諸協会等関係経費 【秘書広聴課】	広域的地域振興のため，構成市と連携し情報収集を行います。各団体の事業を通じて国・県へ要望活動を行い，市民の福祉向上を図ります。
石岡地方斎場組合負担金 【生活環境課】	一部事務組合を組織し，構成市の協力のもと事業を展開していきます。
広域行政の推進 【政策企画課】	地域の魅力向上のため，図柄入り土浦ナンバーの導入を推進しています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
定住自立圏構想勉強会等の開催	定住自立圏構想勉強会等の開催回数	回	1（H22）	1	0
市民一人当たりのサービス負担額	一部事務組合（ごみ，し尿，斎場）等の負担金÷人口	円／年	12,014（H22）	10,800	11,999

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.91	3.62
平成29年度調査	2.89	3.64
平成30年度調査	2.92	3.66

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	05男女共同参画の推進
具体的取り組み例	女性のための困りごと相談の実施，男女共同参画セミナーの開催

1 総括評価

	総括評価
B	少子高齢化が進行し，生産年齢人口・年少人口の減少に伴い労働力の確保が課題となる中，男女が互いに理解し協力しあう男女共同参画の理念が重要となっています。そのような中で，市の政策決定に関わる審議会等への女性委員の積極的登用や，理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保，さらには企業等への啓発などが課題となっています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 本年度から計画期間が始まる第2次石岡市男女共同参画基本計画に基づき，関係課と連携し，事業を実施します。

2 主要事業の概要

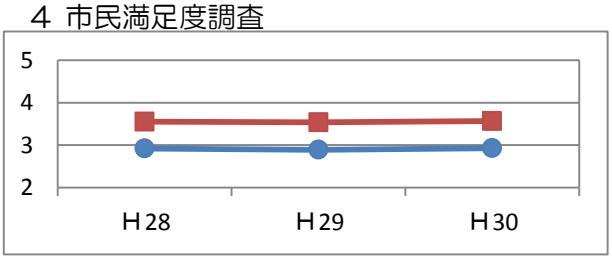
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
男女共同参画推進事業【政策企画課】	引き続き，男女共同参画への意識啓発事業を実施していきます。また，平成29年度中に策定した「第2次石岡市男女共同参画基本計画」に基づき，意識啓発に加え，男女がともに活躍できる社会環境の整備等に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
審議会等委員の女性の登用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	13（H22）	30	24

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.92	3.55
平成29年度調査	2.89	3.54
平成30年度調査	2.93	3.57

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	06国際交流の推進
具体的取り組み例	国際交流活動を行う団体への事業支援，外国人のためのハンドブック作成

1 総括評価

	総括評価
A	市内の国際交流団体と連携し，施策を推進しています。平成28年度より実施している災害時語学ボランティア制度の充実を始め，外国人等を対象とした救命講習会を実施するなど防災対策にも取り組んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 市内の国際交流団体と連携し，各団体の活動を支援するとともに，市民の国際交流へに関心を高めていきます。また，様々な国の人々との幅広い交流や国際感覚豊かな人材の育成等が課題となっています。

2 主要事業の概要

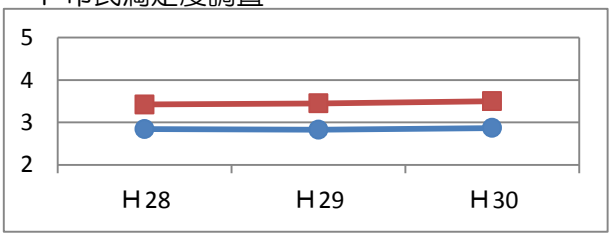
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国際交流事業 【政策企画課】	市と市内の国際交流団体が役割を分担し，より効率的な国際交流の推進を図っていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
国際交流活動参加者数	「国際交流のつどい」来場者数	人	1,000（H22）	1,000	1,200

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.84	3.42
平成29年度調査	2.83	3.45
平成30年度調査	2.87	3.50

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	07人材育成の強化
具体的取り組み例	各種研修の実施による職員の能力向上

1 総括評価

	総括評価
A	石岡市職員人材育成基本方針に基づき，毎年度，職員研修実施計画を作成し，職務遂行に必要な知識，技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また，職員の健康管理については，健康診断後の保健指導が必要な職員へのフォローアップとともに，心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施することなどのメンタルヘルス対策を行っています。
A　順調 B　概ね順調 C　遅れている D　見直しが必要	今後の方向性 今後とも基本的な研修だけでなく，専門的及び実践的な研修に力を入れ，職員に必要とされる能力を育成するため様々な研修を実施するとともに，研修のための職員派遣を積極的に行います。職員の健康管理については，引続き健康診断後の職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策に取り組みます。

2 主要事業の概要

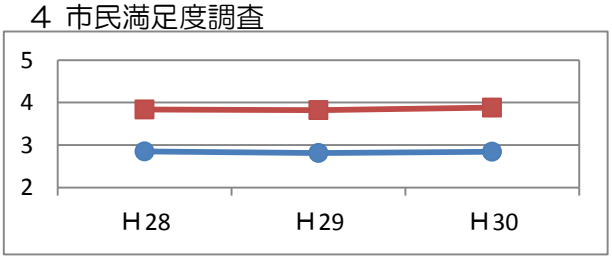
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
職員研修経費 【総務課】	研修アンケート等から一定の成果が表れています。研修効果を高めるために研修復命書とあわせて，目標設定を立てることや研修後のフォローアップアンケートを行うことで，日頃の業務に活かす取組みを行います。
職員福利厚生費 【総務課】	職員の健康管理について，要精密検査の該当職員や健康指導が必要な職員へのフォロー体制の充実やストレスチェックやメンタルヘルス研修などのメンタルヘルス対策を強化していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
各種研修の受講者数	真に求められている研修を開催し，学ぶ機会を拡大します。	人	1,175（H22）	1,350	1,661

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.85	3.84
平成29年度調査	2.81	3.82
平成30年度調査	2.84	3.88

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	08行財政改革の推進
具体的取り組み例	行財政改革大綱に基づく効率的な行政運営

1 総括評価

B	総括評価 石岡市行財政改革大綱のテーマである「行政資産の強化と公共サービスの最適化」を目指し，①財政運営の充実，②人財の強化，③協働によるまちづくりの推進，④行政サービスの最適化，4つの取組方針，46の実施項目を掲げ，庁内各部局の取り組み状況等を毎年進行管理しています。 平成29年度は46実施項目のうち，36項目実施中となりました。残りの10項目についても，スケジュールに沿って進められています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため，個々の実施項目について毎年度ローリング方式による見直しを行い，各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。

2 主要事業の概要

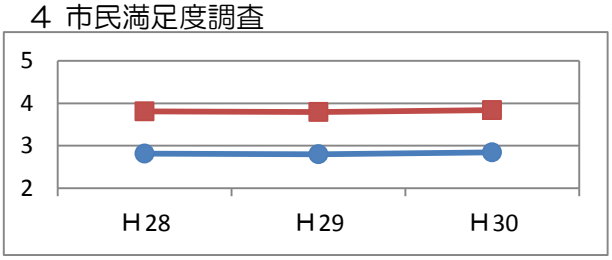
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
行財政改革推進事業【行革推進課】	第２次石岡市行財政改革大綱に基づき策定をしている石岡市行財政改革実施計画の有効性を維持するため，個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行います。
公共施設等総合管理計画推進事業【行革推進課】	石岡市公共施設等総合管理計画に基づき，公共施設利用者の安全・安心の確保は無論のこと，集約・統合等による適正配置や，民間との連携等による新たな事業手法により財政負担の平準化を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29（実績値）
石岡市行財政改革実施計画の実施事項	実施事項のうち取組み実施数	項目	-	46	36

4 市民満足度調査



	満足度（●で表記）	重要度（■で表記）
平成28年度調査	2.81	3.81
平成29年度調査	2.80	3.79
平成30年度調査	2.84	3.84